

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 フレッセ長持ち住宅

グループの名称 フレッセ長持ち住宅供給協議会

直近採択グループ番号 04-0228-0648

(グループ代表者)

代表者名 大地 均 代表者印

代表者所属先 フレッセ(全徳島建設労働組合)

代表者所在地 徳島県徳島市南矢三町3丁目3-29

代表者電話番号 088-632-1351

(グループ事務局)

事務局事業者名 フレッセ(全徳島建設労働組合)

事務局担当者名 牧野 陽介 印

事務局郵便番号 770-0005

事務局所在地 徳島県徳島市南矢三町3丁目3-29

事務局電話番号 088-632-1351

事務局FAX 088-631-5473

事務局担当者E-mail hurrese@hurrese.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	フレッセ長持ち住宅
2. グループの名称(必須)	フレッセ長持ち住宅供給協議会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0228-0648
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	徳島県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	大地 均
7. グループ代表者の所属先(必須)	フレッセ(全徳島建設労働組合)
8. グループ代表者所在地(必須)	徳島県徳島市南矢三町3丁目3-29
9. グループ代表者電話番号(必須)	088-632-1351
10. グループ事務局事業者名(必須)	フレッセ(全徳島建設労働組合)
11. グループ事務局担当者名(必須)	牧野 陽介
12. グループ事務局郵便番号(必須)	770-0005
13. グループ事務局所在地(必須)	徳島県徳島市南矢三町3丁目3-29
14. グループ事務局電話番号(必須)	088-632-1351
15. グループ事務局FAX番号(必須)	088-631-5473
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	hurresse@hurresse.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	10	
II. 製材・集材製造・合板製造	13	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	13	
IV. プレカット	6	
V. 設計	15	
VI. 施工	16	
VII. 木材を扱わない流通	3	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	徳島県産スギ	徳島県	徳島県木材認証制度	1	国内
	徳島県産ヒノキ	徳島県	徳島県木材認証制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		7	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		7	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		2	戸				
		申請が未確定(上限100万円)		11	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		11	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		1	戸				
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		3	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		0	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸					
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		0	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		4	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		4	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸					
	申請が未確定(上限165万円)		7	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		7	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸					
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m <sup>2</sup>							
		申請が未確定	0 棟							
			m <sup>2</sup>							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	事務局に工事請負契約書の写しが提出された順(先着順)とし、1事業者につき1戸とする。但し、採択通知1ヵ月経過した際に配分戸数に達していない場合、1事業者複数戸の申込可とする。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	7	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m <sup>2</sup>	交付申請床面積		m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積		m <sup>2</sup>	















県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年(1月~12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当			
				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅						
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均								
VI. 施工-2																					
36	VI - 38	49599	森の家工務店	2戸	2戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>					○	○
36	VI - 46	49609	株式会社谷崎建設・設計事務所	9戸	8戸	5戸	5戸	0戸	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	○				○	○
36	VI - 47	49569	株式会社 宮田建築設計工房	1戸	6戸	1戸	2戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	○					
36	VI - 49	49606	株式会社 アオキ	2戸	1戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
36	VI - 50	49608	株式会社Ota建築設計	2戸	2戸	0戸	0戸	0戸	0戸	2戸	1戸	1戸	1戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	○	○			○	○
36	VI - 53	49598	有限会社 智粧	11戸	8戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>					○	
36	VI - 54	49605	株式会社青木建設	5戸	5戸	5戸	5戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	○				○	
36	VI - 55	49559	株式会社 ウザワ	12戸	7戸	1戸	1戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	○				○	
36	VI - 59	49576	荒井工務店	1戸	3戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
36	VI - 60	49628	福島建設	1戸	2戸	0戸	2戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	○					
36	VI - 61	49583	有限会社 山土工務店	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
36	VI - 62	49633	キウチ建築	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
36	VI - 63	49603	有限会社 青江建設	2戸	3戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
36	VI - 64	49581	大工サカモト	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
36	VI - 65	49615	有限会社 辻組	9戸	7戸	2戸	1戸	1戸	1戸	0戸	1戸	1戸	1戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	○	○			○	
36	VI - 66	52157	古林建築	3戸	3戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						





1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) フレッセ長持ち住宅	(地域型住宅供給対象地域) 徳島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) フレッセ長持ち住宅供給協議会	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0228-0648	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	徳島県が森林資源が豊富な地域であることを踏まえ、主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に徳島県木材認証制度により認証を受けた徳島県産のスギ・ヒノキを使用する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に徳島県木材認証制度より認証を受けた当協議会指定の地域材を使用。下地材、仕上材等にも1㎡以上当協議会指定の地域材を使用。 ※優良建築物(非住宅)は除く	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	自然が溢れる徳島県の街並みを損なわない、景観に配慮したデザインを採用した住宅。 ※優良建築物(非住宅)は除く	◎
④①～③の背景	県土の75%を森林が占める徳島県の森林資源はスギ・ヒノキを中心に増加し蓄積量はこの半世紀で3倍にまで増加し、特にスギの人工林は半数以上が樹齢50年を超え、全国よりいち早く「間伐から主伐の時代」を迎えている。県は平成23年度から「次世代林業プロジェクト」を展開し10年後(平成32年度末)の目指すべき明確な目標に県産材の生産量・消費量「倍増・県産材自給率70%」を掲げるなど、県産材の利用拡大に向けた諸施策を行っている。 また、徳島県は南海トラフ地震の被害が想定されている地域であり、政府の地震調査委員会によると今後30年以内にマグニチュード8以上の巨大地震が起こる確率が70%程度と公表されている。 当協議会は県産材の利用拡大に向けた県の施策に賛同し、地域型住宅を普及させることにより民間部門の県産材消費量のアップに貢献し地震が想定される地域でも安全安心で長く住み続けられる長期優良住宅の供給に取り組むとともに、省エネ型住宅の普及と住宅の省エネルギー化に向けた技術力の向上のために高度省エネ型住宅の供給にも取り組む。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に徳島県木材認証制度より認証を受けた当協議会指定の地域材を使用。下地材、仕上材等にも1㎡以上当協議会指定の地域材を使用。※優良建築物(非住宅)は除く	◎
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達のコスト削減	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 役員会で生産の合理化等に向けた課題を整理し、生産体制の合理化を検討。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 事務局は取り組みの中での課題や改善点を集約し、生産の合理化等に向けた対策やシステムを研究する。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	■ ない □ ある → 内容:	
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 設計内容確認書及び指示書の作成により信頼性向上に向けた検査ルールを設定。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	□ ない ■ ある → 内容: 取組での課題等を事務局で整理し、役員会、総会、研修会等で意見交換を行うなど、グループ全体で改善を積み重ねることで、信頼性の向上につなげている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) フレッセ長持ち住宅	(地域型住宅供給対象地域) 徳島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) フレッセ長持ち住宅供給協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0228-0648	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅について、履歴情報会社等の信頼できる第三者のシステムまたは第三者のシステムと同等の自社管理システムを活用した住宅履歴情報蓄積を義務化。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅について、事務局より定期的(年1回程度)に履歴情報蓄積に関する確認表の提出を求める。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅について、事務局より定期的(年1回程度)に点検補修実施に関する確認表の提出を求める。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局であるフレッセが各地域で年10回程度実施している住宅相談会にグループ構成員や建築主の参加を呼びかける。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 役員会で維持管理について検討する。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員の倒産廃業時には、建築主との協議の上、速やかに住宅メンテナンスを引き継ぐグループ構成員を選定し、建築主と住宅履歴情報の点検や検証を行う。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 役員会、総会、研修会等で意見交換を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 平成28年度は「第1回勉強会・省エネ法とゼロ・エネルギーハウスについて/省エネ基準義務化により激震する住宅建築への対応と樹脂窓の活用(平成28年11月5日)」、「第2回勉強会・断熱気密施工と体感温度のしくみについて/省エネルギー計算書等作成サービスについて(平成28年12月10日)」を開催。平成28年11月17日～18日に研修会として「スマートウェルネス体感バビリオン」(横浜)や「YKKAP体感ショールーム」(品川)を訪問し、グループ内の技術や知識の向上を図った。平成29年度も研修会等の実施を計画し、さらなる技術力の向上を目指す。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記①のような研修会等を積み重ね、各地域における長期優良住宅や高度省エネ型住宅推進をグループ構成員が担えることを目指す。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 5	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 180 今年度の参加目標人数 30		○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局であるフレッセは「住宅省エネルギー技術講習会」の徳島県事務局を担っていることから、協議会構成員内外への受講を建設業界団体や構成員のネットワークを活用して推進する。		◎
c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) フレッセ長持ち住宅	(地域型住宅供給対象地域) 徳島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) フレッセ長持ち住宅供給協議会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0228-0648	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	「住宅」 主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に、当協議会指定の地域材を使用する。 下地材、仕上材等にも当グループ指定の地域材を1㎡以上使用する。 「優良建築物(非住宅)」 主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に、当協議会指定の地域材を使用する。
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	①原木供給者・製材・建材流通・プレカット業者等は、事前に県木材認証機構に登録申請を行い登録機関の認定を受ける。 ②各登録機関は産地認証及び品質認証のために産地と品質の表示されたスタンプを納品書等に押印の上、出荷する。 ③工務店・建設会社・個人等の消費者が証明の申請を行い、県木材認証機構から証明書の発行を受ける。 ※徳島県においては都会ほど流通が発達していないため、地域によっては建材流通業者を介さない場合もある。そのため当協議会では地域の実情に合わせ、そのような事業者も事業に参加出来るよう、製材業者からプレカット業者へ直接供給される場合も可とする。また手刻み加工を行う事業者もあるため、製材業者から直接施工業者へ納入する場合も可とする。
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者や地域材供給業者と事務局が綿密に情報連携を行い、事務局は各構成員に情報を発信することでグループ全体での把握を図る。
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者や地域材供給業者と事務局が綿密に情報連携を行い、事務局は各構成員に情報を発信することでグループ全体での共有を図る。
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: とりま現状から考えると当面は安定しているといえるが、今後も地域材供給業者と事務局が綿密に情報連携を行い、グループ全体で状況を把握し共有する。
c	①-1 量の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 県産材である徳島スギ、ヒノキの活用を図る。
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 徳島県の気候、風土に合った住宅を提供する。
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住宅の計画段階で建築主に地域の伝統的なデザインを推奨する。
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住宅の計画段階で建築主に地域の住まい方の継承につながる計画を推奨する。
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住宅の計画段階で建築主に地域の街並み形成への配慮を推奨する。
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住宅の計画段階で建築主に和の住まいの要素を取り入れた計画を推奨する。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当協議会構成員の各事業所で雇用する大工はもとより、地域活性化のためにフレッセに加入する地元の大工・左官等の職人を優先的に使用し活性化を図る。
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) フレッセ長持ち住宅	(地域型住宅供給対象地域) 徳島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) フレッセ長持ち住宅供給協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0228-0648	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

『フレッセ長持ち住宅供給協議会が取り組む木造住宅の特徴』

県土の75%を森林が占める徳島県の豊富な森林資源を活用し、主要構造部材の50%以上に徳島県木材認証制度により認証を受けた徳島県産のスギ・ヒノキを使用。

【認定低炭素住宅】

- ・太陽光発電を除くエネルギー削減率(R0値)を22%以上削減

【性能向上計画認定住宅】

- ・太陽光発電を除くエネルギー削減率(R0値)を22%以上削減

【ゼロ・エネルギー住宅】

- ・太陽光発電を除くエネルギー削減率(R0値)を22%以上削減
- ・太陽光発電を含む全体としてのエネルギー削減率(R値)100%以上

『フレッセ長持ち住宅供給協議会が取り組む優良建築物(非住宅)の特徴』

主要構造部材の50%以上に徳島県木材認証制度により認証を受けた徳島県産のスギ・ヒノキを使用。

建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)の評価

- ・BEIの値0.8以下



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。